

# 三菱電機パッケージエアコン別売部品 集中排水ドレンパン据付工事説明書

PAC-SG63DP  
室外ユニット H/Kシリーズ  
PAC-SG64DP  
室外ユニット H/Lシリーズ

## 安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



誤った取扱いをしたときに、  
死亡や重傷などに結びつく  
可能性があるもの。



誤った取扱いをしたときに、  
軽傷または家屋・家財など  
の損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただく  
ように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。



据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

## 据付け(移設)・電気工事をする前に



- ボリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管など表面が結露して、露タレなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

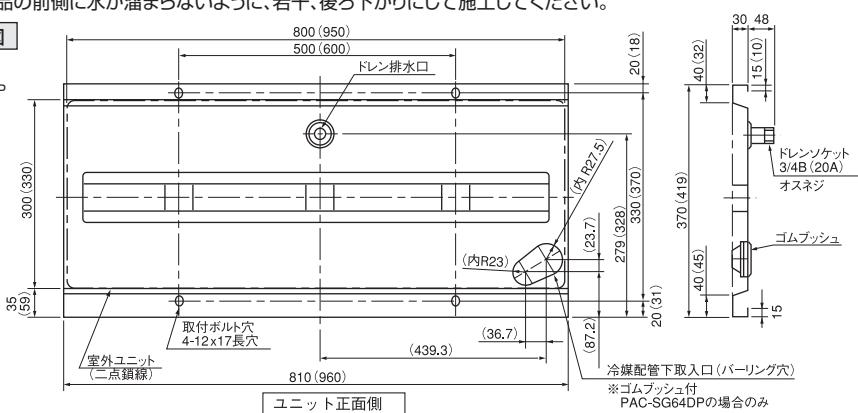
- 電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財などを濡らす原因になります。

このドレンパンは、室外ユニットを通路の上などの架台に据付けた場合のドレン処理を行うものです。  
なお、本品の取付けの際には、次の点にご留意ください。

- 1) 寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
- 2) 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが30mm高くなります。
- 3) 本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- 4) 本品の前側に水が溜まらないように、若干、後ろ下がりにして施工してください。

## 1 外形図

( ) 内寸法は  
PAC-SG64DP  
を示します。

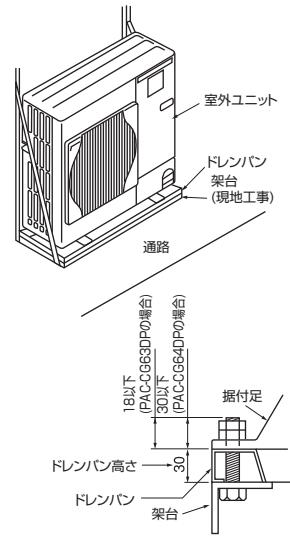
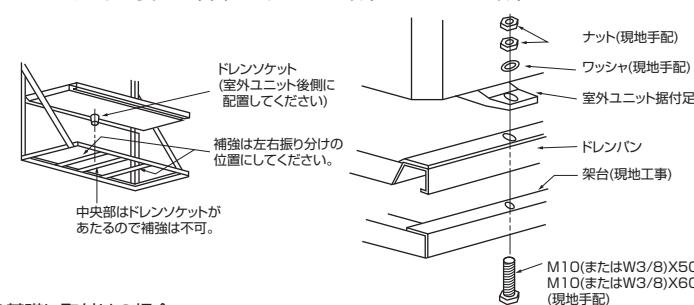


## 2 取付方法

### (1) 据付用架台に取付けの場合

- 1) 据付用架台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に十分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
- 2) ドレンパンのドレンソケットは長手方向中央部にありますので、架台の製作時にはソケットと架台部材が干渉しないようにしてください。
- 3) ドレンパンの取付けは、室外ユニット本体と共に締めになりますので、据付用架台には室外ユニット本体据付用ピッチにて約13程度の穴をあけてください。
- 4) 架台とドレンパン、室外ユニット本体を下図のように共締めて強固に締結してください(4ヶ所)。

なお、ボルトの長さは下図のように48mm以下、または60mm以下としてください。



### (2) 基礎に取付けの場合

- ドレン集中処理が必要で、基礎に据付ける場合、基礎の地上部高さは下図のように150mm以上としてください。  
これ以下ですとドレン排水用ソケットの突出長さが48mmですので、ドレン配管施工ができなくなります。



## 3 ドレン配管

### (1) 鋼管接続の場合

3/4Bメジ加工にて接続してください。

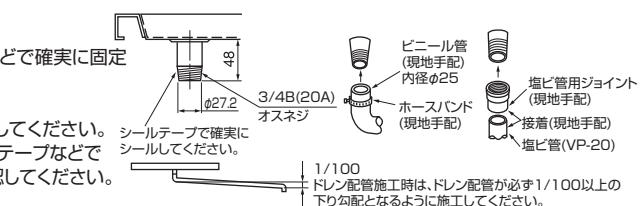
### (2) ピニール管(軟質)接続の場合

内径φ25mmを使用し、接続部はホースバンドなどで確実に固定してください。

### (3) 塩ビ管(硬質)接続の場合

VP-20を使用し、塩ビ管用ジョイントにて接続してください。シールテープで確実に密封してください。  
※いずれの場合でも、ソケットのネジ部はシールテープなどで密封してください。

確実にシールを行い、水漏れがないことを確認してください。

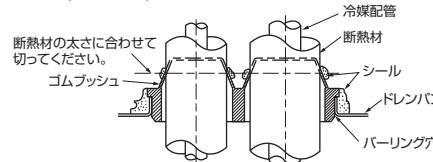


## 4 冷媒配管 ※PAC-SG63DPを除く

- 冷媒配管の入れは、前、右、後、下側の4方向から可能ですが、必ず以下の作業を行ってください。

### (1) 下配管の場合

ゴムブッシュを冷媒配管断熱材の太さに合わせて切り取って、ゴムブッシュに冷媒配管を通しながらバーリング穴にはめ込んでください。水漏れしないように合成ゴム系接着剤など(現地手配)でシールしてください。



### (2) 他の配管の場合

ドレンパンの下配管部バーリング穴をゴムブッシュで塞いでください。水漏れしないように合成ゴム系接着剤など(現地手配)でシールしてください。

